

# 令和6年度 総社中央小学校タブレット学年別活用系統表(案)







## 〈目指す児童像〉







- ◇複数ある文字入力方法について知り、その中から自分に合った方法を見付け、場面や目的に応じて効率よく活用することができる。
- ◇複数ある表現方法について知り、その中から自分に合った方法を見付け、場面や目的に応じて効率よく自分の考えを表現することができる。

## 〈基本方針〉

- ※令和6年度 総社中央小学校情報教育全体計画より
- ◇各教科や総合的な学習の時間などの教育活動を通し、情報機器に慣れ親しむ。
- ◇目的に沿った情報を主体的に収集し、その情報を適切に判断・処理し、相手に効果的に表現・発信・伝達できる能力を育てる。

◇教育委員会が整備しているアプリケーションやソフト等（Google系+ベネッセ+タブレットドリル）で授業を行う。 ← セキュリティ面も考慮して、過程の追跡、評価がしやすい。  
 ◇整備外のアプリケーションを使いたい場合は、以下の流れで相談する。使用の許可が下りない場合もある。  
 担任（専科） → 情報教育担当 → 校長先生・教頭先生 → 教育委員会  
 ◇休み時間は『ログアウト→シャットダウン』をし、使い終わったらカバンに入れる（机の中には入れない、低学年はラック内）。

アプリケーション	低学年（1・2年）	中学年（3・4年）	高学年（5・6年）
Gドライブ (共有フォルダ) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドライブの中の資料や写真などを見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人のデータ（写真や資料など）をドライブに保存することができる。</li> <li>☆自分以外の人やものが映っている画像についての情報モラルの指導の必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットの画像等をドライブに保存できる。</li> <li>☆著作権の情報モラル指導の必要あり</li> </ul>
Classroom 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 課題を提出することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 課題を提出することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分で作成したデータを掲載することができる。</li> </ul>
スライド 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えや学習したことを文字入力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文字と画像を使って、資料を作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 様々な教科において、作成した資料を元にプレゼンすることができる。</li> </ul>
フォーム 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 選択式や記述式の質問に答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 記述式の質問に答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目的に応じた回答方法を選び、アンケートを作成することができる。</li> </ul>
ドキュメント 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えや学習したことを文字入力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文字と画像を使って、資料を作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 共同で文章を作成したり、推敲したりすることができる。</li> <li>• Web上から文章をコピー&amp;ペーストすることができる。</li> <li>• 自分の考えを画像や図形を使ってまとめることができる。</li> </ul>
ジャムボード 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えを書くことができる。</li> <li>• 付箋に文字を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えを書き込み、説明することができる。</li> <li>• 付箋に文字を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色分けした付箋を使い、グループや全体で意見交流をすることができる。</li> <li>• 自分の考えを書き込み、説明することができる。</li> <li>• 付箋の内容を読み、分類、比較、関連付けながら整理することができる。</li> </ul>

スプレッドシート			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや学習したことを文字入力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて表を作ることができる。</li> <li>作った表からグラフを作ることができる。</li> </ul>
ミーティング		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介をし合ったり、クイズなどで遊んだりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習していることを発表し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある話題などに対し、お互いに意見交流することができる。</li> </ul>
カメラ		<ul style="list-style-type: none"> <li>画像や動画を撮影することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影したものをドライブに保存することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影したものをペンツールやトリミングなどで加工して、ドライブに保存することができる。</li> </ul>
オクリンク		<ul style="list-style-type: none"> <li>色を変えながら、字を書いたり、線を引いたりすることができる。</li> <li>写真や動画を貼り付けることができる。</li> <li>文字を入力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オクリンクを使って、自分の考えを相手に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見せる相手のことを意識して、必要な資料を貼り付けたり、見やすく色分けしたりすることができる。</li> </ul>
ムーブノート		<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンプを置いたり、マーカーを引いたりすることができる。</li> <li>拍手機能を使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を入力することができる。</li> <li>深い学び機能を使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広場に投稿された友達の見解に対して、自分の考えを書き込むことができる。</li> </ul>
ドリルパーク タブレットドリル		<ul style="list-style-type: none"> <li>出されたドリルを解くことができる。</li> </ul> <p>☆教員が課題を配信することをメインに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で課題を選択してドリルに取り組むことができる。</li> </ul> <p>☆教員が課題を配信することに加え、自分で課題を選択する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の能力や必要に応じてドリルを選択して、効率的にドリルに取り組むことができる。</li> </ul> <p>☆教員が課題を配信することに加え、自分で課題を選択することで学びを深める</p>
文字入力技能 (タイピングの基準)		<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ字表等を活用しながら、文字入力に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームポジションを意識して、視写入力で、1分間にひらがな20文字以上を入力できる。</li> <li>記号等の入力ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチタイピングを意識して、思考入力（感想等の文章作成を想定）で、1分間に漢字変換を含み、30文字以上を入力できる。</li> <li>視写入力で1分間にひらがな60文字以上を入力できる。</li> <li>文字変換ショートカットキーの利用ができる。</li> </ul>
基本操作		<ul style="list-style-type: none"> <li>電源on</li> <li>ログアウト、シャットダウン</li> <li>音量の上げ下げ&amp;ミュート（サイド、画面右下）</li> <li>タッチペンや指で操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチペンor指で操作（スワイプ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像のスクリーンショット</li> <li>文章のコピー&amp;ペースト</li> </ul> <p>☆著作権の情報モラル指導の必要あり</p>
休み時間等の 使用方法	<p>原則、休み時間は使用しない（テスト等が早く終わった場合も）。使用する場合は、担任の許可を得る。使用する内容も以下のものにする。</p> <p>◇各教科等の課題（原則、家庭学習でできるものは家庭で取り組ませる）</p> <p>◇係・委員会活動でポスターやアンケート等を作成する時 ※昼休み</p>			
デジタル シティズンシップ教育				<p>オンライン教材や外部講師を中心に、デジタルシティズンシップ教育を実施する。</p>

【やくそく】

- 電源を切る時は、ログアウトとシャットダウンすることを指導する。 ← セキュリティの観点（登下校時、地域のWi-Fiと接続しないため）
- 『家で充電』してくることを指導する。 ← 学校に予備のコードはない（6本あるはずのコードもないので、購入するなら備品の管理を徹底）
- データの共有は、必ず教員も入ること。 ← ネットいじめの防止（知らないところで書き込みされる環境を防ぐ）
- 『大切に使う』『健康に気をつけて使う（長時間の使用は控える）』『ネットトラブルが起きない使い方』の3点は重点目標として常に指導する。

